

収穫中の園地と隣接する園地では、十分に注意して散布してください。

【住宅に隣接している園での散布時間帯については、早朝5時以降の開始にご協力ください。また、通勤や通学の時間帯も避けてください。】

★「りんご」の9月防除については、別紙をご確認ください。★

注意事項 展着剤は、各樹種共通でアイヤーエース10,000倍(10cc)又はラビデン3S10,000倍(10cc)を使用する。

【 も も 】(防除暦 31~32頁参照)

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
17 ・ 18 ・ 19	(収穫後) 9/10頃 及び 9/25頃 及び 10/10頃 の3回	せん孔細菌病	1. 展着剤	①生石灰 (1,200g)	400ℓ
			2. 4-12式ボルドー液	②硫酸銅 (400g)	
			または		
			1. ICボルドー412	30倍 (3,300g)	
			または		
			1. 展着剤	500倍 (200g)	
			2. ムッシュボルドーDF	100倍 (1,000g)	
			3. クレフノン		
		1. 収穫中・収穫前の品種では収穫終了次第散布する。			
		2. 収穫が終了した園地では8月末頃から散布を開始してもよい。但し、周辺に収穫中及び収穫前の他作物がある場合は飛散しないよう十分注意すること。			
特別散布	9月 上旬~下旬 (収穫後)	コスカシバ	1. トラサイドA乳剤	200倍 (500cc)	200ℓ
			枝幹部への散布(手散布)		
		1. トラサイドA乳剤は、葉に薬液がかかると薬害が出るので注意する。(収穫中・収穫前の品種では収穫終了次第散布する。)			
		2. 今回散布できなかった場合は、3月下旬から4月上旬(発芽前)にトラサイドA乳剤200倍(500cc)を枝幹部へ散布する。トラサイドA乳剤の枝幹部への散布は年1回なので注意する。			

【赤なし・青なし共通】 シンクイムシ防除対策

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
追加散布	9月10日頃	シンクイムシ類	1. 展着剤	4,000倍 (25cc)	250ℓ
			2. フェニックスフロアブル		
		1. シンクイムシの防除適期になるので、収穫を控えている『無袋の果実全品種』に散布をお勧めします。なお、フェニックスフロアブルは年2回までの使用規制なので総使用回数にご注意ください。			
耕種的防除	9月下旬	ハマキムシ類・ハダニ類	バンド誘殺		-
		ナシヒメシンクイ クワコナカイガラムシ	1. 枝幹部に麻袋や肥料袋などを厚く巻きつけ、2月初め頃に取り外し処分する		

【ぶどう】(防除暦129頁参照)

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
特別散布	休眠期 (10月下旬頃)	ブドウトラカミキリ	1. トラサイドA乳剤	200倍 (500cc)	200ℓ
			1. 晴天時を選んで、丁寧に散布する。 2. りんごでは薬害が生じ易いので薬剤がかからないよう十分注意して散布する。		
落葉後		各種病害虫	落葉処理など園内外の清掃		
			各種病害虫の越冬密度を下げるため、園内外の落葉を集めて適切に処理する。		

【 お う と う 】(防除暦148頁参照)

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
特別散布	9/20頃	コ ス カ シ バ	1. トラサイドA乳剤 枝幹部への散布(手散布)	200倍 (500cc)	200ℓ
		1. トラサイドA乳剤は、葉に薬液がかかると薬害を生じるので注意する。			
耕種的防除	10月中	ミ バ エ 類	土壌の耕うん ※ミバエ類は土壌中で越冬するので、土壌を耕うんし、越冬密度を下げる。		
	落葉後	各種病害虫	落葉の処理 1. 落葉を集め土中に埋めるなど、園内外の清掃に努める。 2. 落葉後、コスカシバの多い園では虫ふんの出ているところを金づちでたたいて圧殺する。		

【 か き 】病害防除対策

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
追加散布	9月10日頃	落葉病・炭そ病	1. 展着剤 2. ナリアWDG (収穫前日:年2回まで)	2,000倍 (50g)	400ℓ
		8月下旬以降も降雨が予想されるので、病害対策として追加散布をお勧めします。お、ナリアWDGは年2回までの使用規制なので総使用回数にご注意ください。			

【 す も も 】(防除暦170~171頁参照)

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
11	9月中旬 (収穫後)	黒 斑 病	1. ICポルドー412	30倍 (3,300g)	300ℓ
※隣接園に注意して散布する。					
特別散布	9月中旬～下旬 (収穫後)	コ ス カ シ バ	1. トラサイドA乳剤 枝幹部への散布(手散布)	200倍 (500cc)	200ℓ
		1. トラサイドA乳剤は、葉に薬液がかかると薬害を生じるので注意する。(収穫中、収穫前の品種では収穫終了次第散布する。)			
耕種的防除 落葉後		各種病害虫	コスカシバの圧殺 園内外の清掃		—
		1. コスカシバの虫糞の出ているところを、金づちか木づちで軽くたたいて圧殺する。 2. 園内外の落葉を集めて適切に処理する。			

【 ネ ク タ リ ン 】(防除暦192頁参照)

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
15・16・17	9/10頃及び 9/25日頃及び 10/10頃 (3回散布) (収穫終了後)	せ ん 孔 細 菌 病	1. ICポルドー412 または 1. 展着剤 2. ムッシュポルドーDF 3. クレフノン	30倍 (3,300g) 500倍 (200g) 100倍 (1,000g)	400ℓ
			1. せん孔細菌病の発生が見られた園では、翌年の伝染源となる春型枝病斑の発生を予防する為に実施する。 2. 隣接園に注意して散布すること。		
特別散布	9月上旬～下旬 (収穫後)	コ ス カ シ バ	1. トラサイドA乳剤 枝幹部への散布(手散布)	200倍 (500cc)	200ℓ
耕種的防除	落葉後	各種病害虫	コスカシバの圧殺 園内外の清掃		—
		1. コスカシバの虫糞の出ているところを、金づちか木づちで軽くたたいて圧殺する。 2. 残袋および落葉の処理を徹底する。			

【 う め 】(防除暦179頁参照)

散布回数	防除時期	対象病害虫	薬剤名及び使用倍数(水100%当り)		SS散布量
	落葉後	樹上の越冬害虫 (カイガラムシ類)	1. 機械油乳剤95	25倍 (4ℓ)	350ℓ
1. 枝幹に寄生しているカイガラムシ類は、ワイヤーブラシなどでこすり落とす。					

※表中の日付は果樹研究所(飯坂町平野)を基準にしております。各園地との差異を考慮して、適期防除に努めてください。

★農薬散布は、無風又は風の弱いときに行うなど、近隣に影響の少ない天候の良い日を選んで散布しましょう。散布時間帯についても通学や出勤時間帯は避け、住宅地に混在している園地では十分注意して散布をお願い致します。また、希釈倍数・散布量・散布時期(収穫前日数)にも十分注意してください。

※各品種の出荷前(最終散布終了後)には、必ず防除日誌・栽培管理日誌を提出してください。